

# 保健給食

1	学校保健の概要	105
2	学校安全	109
3	学校給食の概要	110
4	学校給食の実施状況	112
5	学校給食センター	114
6	学校別給食開始日（完全給食）	115



# 1 学校保健の概要

本市の学校保健は、宮崎市学校保健会をはじめ関係機関と連携を図りながら、健康教育研究大会、歯科保健大会等を開催し、学校保健に関する諸問題について研究を深めている。一方、宮崎市郡医師会、宮崎市郡歯科医師会、宮崎市郡薬剤師会の指導・助言のもとに、健康診断の徹底やむし歯予防を図るための学校でのフッ化物洗口の実施など、児童生徒の健康管理、保健指導、学校環境衛生の整備改善に努めている。

今後も、心臓検診や結核検診をはじめ、各種健康診断の充実に努めながら、児童生徒の健康の保持増進をより一層推進する。

また、飲料水やプールの水質検査をはじめ、環境衛生検査の徹底を図り、学校環境衛生の維持、向上に努める。

## (1) 健康診断

児童生徒の疾病の早期発見および事後措置、健康保持を目的として、学校医（内科・眼科・耳鼻咽喉科）、学校歯科医及び関係団体の熱心な協力のもとに、毎年定期的健康診断、水泳シーズンやマラソン大会等の際の健康診断、健康相談を実施している。

また、10月から11月にかけて翌年度の就学予定者を対象に就学時健康診断を実施している。

## (2) 学校環境衛生検査

学校環境衛生の維持、改善を図るため、学校薬剤師及び薬剤師会の協力のもと、飲料水やプール水質検査、空気及び照度等の検査を毎年定期あるいは臨時に実施している。

## (3) 学校におけるフッ化物洗口

児童生徒の歯質強化によるむし歯予防促進のため、宮崎市立学校におけるフッ化物洗口を平成22年度から年次的に導入し、平成29年度から全ての小中学校において実施している。

## (4) 宮崎市学校保健会

組 織 （平成30年度）

会 長 川 名 隆 司（宮崎市郡医師会会長）

副会長 黒 木 晃 一（宮崎市郡歯科医師会会長）

” 安 藤 三紀夫（生目南中学校校長）

各部会 学校医部会、学校歯科医部会、学校薬剤師部会、校長部会、保健主事部会  
養護教諭部会、給食部会、栄養教諭・学校栄養職員部会、PTA部会

### (5) 平成 30 年度の主要事業

- ・ 児童生徒健康診断
- ・ 学校環境衛生検査
- ・ 学校におけるフッ化物洗口
- ・ 就学時健康診断
- ・ 歯科保健大会の開催

### (6) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師

学校における保健管理や児童生徒の健康の保持増進を図るため、市立の全学校に学校医 252 人（うち、内科医 106 人、眼科医 73 人、耳鼻科医 73 人）、学校歯科医 96 人、学校薬剤師 73 人を配置している。（複数の学校の兼務も有り）

### (7) 教職員健康診断

教職員の健康診断は、総合検診による判定結果に基づく治療指示等適切な措置が取れるよう、検診実施機関による検診施設で実施している。

### (8) 要保護・準要保護医療費援助事業

学校において、要保護・準要保護の児童生徒に伝染性又は学習に支障を生ずるおそれのある特定の疾病の治療を指示した際に、その医療に要する費用について必要な援助を行っている。

#### 要保護・準要保護別疾病別内訳（平成 29 年度）

区 分		結膜炎	中耳炎	慢性副 鼻腔炎	う 歯	寄生虫病	アデノイド	伝染性の 皮膚疾患	合 計	
小 学 校	要 保 護	扶助人員	0	0	5	21	0	0	0	26 人
		扶 助 額	0	0	44,210	396,700	0	0	0	440,910 円
	準要保護	扶助人員	3	74	117	771	0	6	2	973 人
		扶 助 額	6,920	180,302	271,052	4,605,234	0	161,260	2,320	5,227,088 円
中 学 校	要 保 護	扶助人員	0	0	0	3	0	0	0	3 人
		扶 助 額	0	0	0	48,950	0	0	0	48,950 円
	準要保護	扶助人員	0	8	4	191	0	0	0	203 人
		扶 助 額	0	36,767	9,850	1,163,514	0	0	0	1,210,131 円

※扶助人員は延べ人数

定期健康診断における主な疾病及び対象者数（平成29年度）

上段は受検者数、下段は対象者数

区 分	小 学 校				中 学 校			
	男 子		女 子		男 子		女 子	
肥 満 傾 向	11,459	8.12%	10,982	6.81%	4,867	8.88%	4,698	9.26%
	931		748		432		435	
瘦 身 傾 向	11,459	1.13%	10,982	1.12%	4,867	2.36%	4,698	2.68%
	129		123		115		126	
脊柱胸郭四肢の状態の異常	11,393	2.98%	10,946	2.72%	4,806	5.18%	4,634	3.75%
	340		298		249		174	
近 視 (裸眼視力1.0未満)	11,423	28.17%	10,961	35.53%	4,881	53.33%	4,701	65.18%
	3,218		3,894		2,603		3,064	
眼疾患(伝染性・アレルギー性疾患等)	11,277	3.63%	10,832	3.61%	4,750	4.69%	4,583	3.62%
	409		391		223		166	
難 聴	7,604	0.38%	7,382	0.43%	3,270	0.24%	3,153	0.57%
	29		32		8		18	
耳 疾 患	11,319	8.48%	10,895	8.68%	4,754	7.82%	4,590	4.99%
	960		946		372		229	
鼻 疾 患	11,319	19.69%	10,895	11.44%	4,754	18.59%	4,590	12.16%
	2,229		1,246		884		558	
口 腔 咽 喉 頭 疾 患	11,319	1.87%	10,895	1.64%	4,754	0.72%	4,590	0.65%
	212		179		34		30	
アトピー性皮膚炎	11,380	1.16%	10,941	1.12%	4,792	2.30%	4,640	2.24%
	132		123		110		104	
そ の 他 皮 膚 疾 患	11,380	0.28%	10,941	0.15%	4,792	0.15%	4,640	0.13%
	32		16		7		6	
結核及び異常者	11,430	0.00%	10,969	0.00%	4,886	0.00%	4,702	0.00%
	0		0		0		0	
心 電 図 異 常	1,930	5.60%	1,837	3.59%	1,601	7.37%	1,583	4.80%
	108		66		118		76	
心臓の疾患・異常	11,395	1.11%	10,940	0.80%	4,801	1.21%	4,641	1.08%
	127		88		58		50	
尿 蛋 白 検 出 者	11,467	0.29%	10,997	0.60%	4,866	2.98%	4,694	2.15%
	33		66		145		101	
尿 糖 検 出 者	11,467	0.05%	10,997	0.06%	4,866	0.16%	4,694	0.17%
	6		7		8		8	
ぜ ん そ く	11,495	1.73%	11,032	1.31%	4,953	1.35%	4,777	2.70%
	199		145		67		129	
腎 臓 疾 患	11,495	0.13%	11,032	0.15%	4,953	0.18%	4,777	0.21%
	15		17		9		10	
う 歯 処 置 完 了 者 (乳歯・永久歯)	11,347	21.73%	10,912	20.28%	4,780	14.46%	4,614	17.79%
	2,466		2,213		691		821	
う 歯 未 処 置 歯 の あ る 者 (乳歯・永久歯)	11,347	28.48%	10,912	25.57%	4,780	18.12%	4,614	18.21%
	3,232		2,790		866		840	

### 児童生徒の体格（平成29年度）

区 分			男 子			女 子		
			県	市	全 国	県	市	全 国
身長 (cm)	小学校	6歳	116.5	116.1	116.5	115.5	115.3	115.7
		7歳	122.4	121.8	122.5	121.2	121.2	121.5
		8歳	126.9	127.3	128.2	126.5	126.6	127.3
		9歳	132.6	132.6	133.5	132.8	133.1	133.4
		10歳	138.7	138.6	139.0	140.1	140.0	140.1
		11歳	143.9	144.2	145.0	146.8	146.5	146.7
	中学校	12歳	151.6	151.7	152.8	151.7	151.2	151.8
		13歳	159.0	159.0	160.0	154.4	154.1	154.9
		14歳	164.1	164.5	165.3	155.9	155.9	156.5
体重 (kg)	小学校	6歳	21.8	21.3	21.4	21.2	21.0	21.0
		7歳	24.5	24.1	24.1	23.3	23.5	23.5
		8歳	26.7	27.0	27.2	26.3	26.2	26.4
		9歳	30.2	30.2	30.5	29.5	29.8	29.9
		10歳	34.6	33.9	34.2	34.2	34.1	34.0
		11歳	38.0	37.9	38.2	39.8	39.3	39.0
	中学校	12歳	44.2	44.0	44.0	44.6	44.4	43.6
		13歳	48.8	48.5	49.0	47.6	47.8	47.2
		14歳	53.7	54.0	53.9	51.1	50.5	50.5

平成29年度の本市児童生徒の体格と全国及び宮崎県の平均値を比較したものである。

## 2 学校安全

安全教育については、学校内外の生活並びに野外活動における安全指導と管理に努めている。

また、日本スポーツ振興センターとの災害共済給付契約を通して、学校管理下における災害時に必要な給付を行っている。

### (1) 日本スポーツ振興センター共済加入ならびに給付状況（平成29年度）

区分	加入状況				給付状況	
	契約人員 (人)	共済掛金(円)			給付件数 (件)	給付金 (円)
		保護者負担	市負担	計		
小学校	22,529	8,550,940	12,349,815	20,900,755	2,236	12,844,489
中学校	9,731	3,440,800	5,494,550	8,935,350	2,589	20,691,322
幼稚園	61	12,400	5,890	18,290	4	6,118
計	32,321	12,004,140	17,850,255	29,854,395	4,829	33,541,929

※給付件数は延べ数

### (2) 平成29年度 災害報告書の状況

#### ①災害種別件数

区分	骨折	捻挫 脱臼	挫傷 打撲	挫創	切創 刺創	割創 裂創	歯の 損傷	その他 の負傷	疾病	合計
小学校	338	339	371	190	39	26	15	38	70	1,426
中学校	376	378	350	62	24	14	8	61	94	1,367
幼稚園	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	715	718	721	252	63	40	23	99	164	2,795
%	25.6	25.7	25.8	9.0	2.3	1.4	0.8	3.5	5.9	100

#### ②発生場合別件数（負傷のみ、疾病は除く）

区分	授業中		特別 活動	課外活動		休憩時間等			通学中			合計
	体育	その他 の教科		部活動	その他	休憩 時間	昼食時 休憩時間	その他	登校中	下校中	その他	
小学校	285	62	164	0	3	100	483	126	96	99	8	1,426
中学校	273	28	97	673	11	49	154	37	22	18	5	1,367
幼稚園	—	2	—	—	—	—	—	—	0	0	0	2
合計	558	92	261	673	14	149	637	163	118	117	13	2,795
%	20.0	3.3	9.3	24.1	0.5	5.3	22.8	5.8	4.2	4.2	0.5	100

### (3) 事故対策事業

児童生徒、教職員、学校施設利用者及び周辺住民などの救命活動に対応するため、AED（自動体外式除細動器）を年次的に全小中学校へ配置し、平成21年度までに全73校の配置が完了した。また、救急救命講習会の開催についての指導を行っている。

### 3 学校給食の概要

学校給食は、学校における教育活動の一環として、児童生徒の心身の発達に資し、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものである。

本市における学校給食は、昭和22年1月20日にララ（米国のアジア救済民間活動団体）物資により市内の小学校において始まり、昭和29年の「学校給食法」の制定を受け、昭和30年11月に潮見小学校、恒久小学校から完全給食を開始し、順次、小学校での完全給食を実施した。

また、中学校においては昭和42年2月に青島中学校で完全給食を開始し、昭和48年2月までに5中学校で完全給食を実施した。その後、児童生徒数の増加により学校の分離新設が続き、順次完全給食を拡充したが、宮崎西中学校ほか7校がミルク給食のまま残っていた。

平成5年度に共同調理場方式によりこの8校の完全給食を実施する方針を定め、平成6年度に宮崎市学校給食センターを建設、平成7年4月10日からこの8校において完全給食を開始し、旧宮崎市内の小学校35校、中学校18校全校において、単独調理場方式と共同調理場方式の2方式による完全給食を実施している。

なお、米飯給食導入のため、昭和56年度から自校炊飯方式により米飯設備を年次的に各学校に設置して週1回実施、昭和63年度からは週2回、平成元年度からは週2.5回、平成4年度からは週3回の米飯給食を実施している。

平成18年1月1日には、佐土原町・田野町・高岡町との合併に伴い学校給食センター3場を引き継ぎ、旧3町域の全16校（小学校11校、中学校5校）を含めた完全給食を実施するとともに、宮崎市学校給食センターは「宮崎市中央学校給食センター」に名称変更を行った。

さらに、平成22年3月23日には、清武町との合併に伴い学校給食センター1場を引き継ぎ、5校（小学校3校、中学校2校）を含めた完全給食を実施している。

#### （1）運営管理

##### ①単独調理場方式の学校（45校）

各学校において、校長、給食主任等による学校給食に関する運営委員会等を組織し、給食指導、管理等を行い、学校給食の充実に努めている。

##### ②学校給食センター配送校（28校）

単独調理場方式の学校と同じ体制で実施している。

##### ③献立作成委員会

単独調理場方式の学校においては、学校配置の栄養教諭・学校栄養職員と市教育委員会の栄養士により、献立原案を作成、2か月ごとに献立作成委員会を開催し、献立原案の内容等の説明や話し合いを行うとともに、学校同士の情報交換を行い、学校現場の意見を反映させながら、児童生徒にとって「魅力あるたのしい学校給食」となるよう努めている。

献立数	小学校 北部献立、南部献立の2種類	中学校 1種類
委員構成	栄養教諭・学校栄養職員	32名
	調理員代表（単独調理場方式の学校から1名）	45名
	教育委員会保健給食課	3名

給食センターにおいては、各センター配置の栄養教諭・学校栄養職員がセンター毎に独自の献立を作成し、各種会議等により学校現場の意見を反映させている。



#### ④宮崎市学校給食会

宮崎市学校給食センター（現：宮崎市中央学校給食センター）の開設に伴い、配送校8校の給食費の管理及び食材料の一括購入を行うため「宮崎市学校給食会」を設置している。

また、合併に伴って、佐土原・清武学校給食センターではすでに設置されていた学校給食会を引き継ぐとともに、田野・高岡の学校給食センターでは、新たに学校給食会をそれぞれ設置した。

### (2) 栄養管理

平成30年度 年間目標

<小学校> 「望ましい食習慣を形成するための献立作成」

<中学校> 「望ましい食習慣を身につけ、自分の健康に配慮した食生活ができるための献立作成」

献立作成の留意事項

- 1) 学校給食摂取基準を目安として、献立の組み合わせ、材料、分量、調理法、配食量等について考える。
- 2) 安全で良質の食品を選定するなど、食中毒の予防に努める。
- 3) 生鮮食料品は、出回り時季を考え、季節感を持たせるとともに、高価な時期を避け、給食費の効果的運用を図る。
- 4) 郷土料理や、地場産物の導入を図る。

#### 児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA ( $\mu$ gRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)	食物繊維 (g)	食塩相当量 (g)
児童 8歳～ 9歳	640	24 (範囲18 ～32)	350	3	170	0.4	0.4	20	5.0	2.5 未満
生徒 12歳～ 14歳	820	30 (範囲25 ～40)	450	4	300	0.5	0.6	35	6.5	3 未満

\* 脂質・・・・・・・・・・・・・・・・学校給食による摂取エネルギー全体の25～30%

\* マグネシウム・・・・・・・・小学校 80 mg・中学校 140 mg

\* 亜鉛・・・・・・・・小学校 2 mg・中学校 3 mg

範囲・・・・・・・・示した値の内に納めることが望ましい範囲

### (3) 衛生管理

食中毒等の事故防止のため、国の学校給食衛生管理基準に基づき、日常点検等を励行し、食材の検収、調理過程での衛生管理の徹底を図り、また、施設設備について、随時、補修に努めるとともに、年次的な改善を図っている。

学校給食調理員に対しては、夏季休業期間等に研修を実施し、衛生管理意識の向上を図り、また、健康診断や月2回のO157・サルモネラ菌等の検便検査により健康管理に努めている。

## 4 学校給食の実施状況

### (1) 学校給食費

平成30年度 学校給食費等の状況は次のとおりである。

調理区分		学校数	児童生徒数	実施予定回数	1食単価	月額目安
小学校	単独調理校	35校	17,635人	198回	234円	4,200円
	佐土原センター校	5校	2,128人	202回	234円	4,300円
	田野センター校	2校	689人	199回	234円	4,200円
	高岡センター校	3校	544人	201回	234円	4,300円
	清武センター校	3校	1,781人	204回	234円	4,300円
	計	48校	22,777人			
中学校	単独調理校	10校	3,801人	198回	280円	5,000円
	中央センター校	8校	3,572人	200回	280円	5,100円
	佐土原センター校	3校	949人	197回	280円	5,000円
	田野センター校	1校	253人	199回	280円	5,100円
	高岡センター校	1校	232人	202回	280円	5,100円
	清武センター校	2校	767人	204回	280円	5,200円
	計	25校	9,574人			
合計		73校	32,351人			

### (2) 給食施設の整備

平成8年度に大阪府堺市等で発生した学校給食における大規模食中毒を契機として、平成9年4月に国の学校給食衛生管理の基準が策定された。これに基づき、本市においては、給食施設の整備について本格的な取り組みを開始した。

#### ①整備方針

##### ア ドライシステム化

… ドライシステム対応の厨房機器の導入等により、床が乾いた状態で調理する。

##### イ 作業区域の区分

… 下処理室を設け、汚染区域、非汚染区域を区分する。

##### ウ 調理中、調理後食品の温度管理

… 真空冷却機、食品保冷库（新築の給食室においては屋内の空調設備を含む）を設置し、食品の温度管理を行う。

※ 上記ア～ウの実施により、ハード面で食中毒の原因菌の付着を防ぎ、また増殖を抑える上で高い効果が期待できる。

②現在までの整備状況

平成20年度に、宮崎南小学校のドライシステム化により、単独校の給食室のドライシステム化が完了した。

老朽化施設の改築	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
	宮崎小		木花小 大塚小	古城小 鏡洲小 生目小	宮崎東小 青島中	池内小 生目中
	15年度	16年度	17年度			
	倉岡小 内海小	青島小 檜中 住吉中	宮崎北中			

ドライシステム化による施設改修	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度
		大宮小 檜小 宮崎西小 東大宮小 江南小	小戸小 赤江小 住吉南小	大淀小 潮見小 恒久小 住吉小 本郷小	宮崎港小 本郷中	西池小 大塚中
	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	瓜生野小 国富小	江平小 檜北小 生目南中	生目台東小 小松台小	生目台中 木花中	生目台西小 学園木花台小	宮崎南小

## 5 学校給食センター

名称	宮崎市中央 学校給食センター	宮崎市佐土原 学校給食センター	宮崎市田野 学校給食センター	宮崎市高岡 学校給食センター	宮崎市清武 学校給食センター	
所在地	村角町島ノ前 1346 番地 1	佐土原町東上那珂 13915 番地 3	田野町甲 1721 番地	高岡町内山 2846 番地 2	清武町今泉甲 5662 番地	
調理開始	平成 7 年 4 月 10 日	平成 2 年 4 月 6 日	平成 6 年 4 月 6 日	昭和 59 年 4 月 6 日	平成 7 年 9 月 2 日	
敷地面積	3,198 m <sup>2</sup>	5,671 m <sup>2</sup>	2,284 m <sup>2</sup>	1,910 m <sup>2</sup>	4,297 m <sup>2</sup>	
建物面積	1,787 m <sup>2</sup>	1,375 m <sup>2</sup>	846 m <sup>2</sup>	564 m <sup>2</sup>	1,688 m <sup>2</sup>	
構造	鉄骨造一部 2 階建	鉄骨造一部 2 階建	鉄骨造一部 2 階建	鉄骨造平屋建	鉄骨造一部 2 階建	
調理能力	6,000 食/日	6,000 食/日	2,300 食/日	2,000 食/日	5,000 食/日	
配送校	小学校 0 校 中学校 8 校	小学校 5 校 中学校 3 校	小学校 2 校 中学校 1 校	小学校 3 校 中学校 1 校	小学校 3 校 中学校 2 校	
総事業費	794,419 千円	486,254 千円	403,704 千円	135,299 千円	730,000 千円	
財源内訳	国庫補助	169,373 千円	82,669 千円	47,940 千円	39,870 千円	95,839 千円
	起債	—	61,900 千円	126,400 千円	—	180,000 千円
	一般財源	625,046 千円	341,685 千円	229,364 千円	95,429 千円	454,161 千円

## 6 学校別給食開始日（完全給食）

宮崎小学校	昭和 34 年 3 月 2 日	小戸小学校	昭和 33 年 10 月 1 日
大淀小学校	昭和 33 年 9 月 24 日	大宮小学校	昭和 32 年 10 月 1 日
宮崎東小学校	昭和 41 年 2 月 7 日	古城小学校	昭和 38 年 1 月 8 日
江平小学校	昭和 32 年 10 月 1 日	西池小学校	昭和 35 年 1 月 11 日
憶小学校	昭和 31 年 11 月 19 日	潮見小学校	昭和 30 年 11 月 7 日
恒久小学校	昭和 30 年 11 月 17 日	赤江小学校	昭和 31 年 11 月 27 日
国富小学校	昭和 36 年 2 月 15 日	瓜生野小学校	昭和 38 年 2 月 1 日
倉岡小学校	昭和 39 年 3 月 2 日	木花小学校	昭和 38 年 2 月 1 日
鏡洲小学校	昭和 40 年 3 月 1 日	青島小学校	昭和 40 年 3 月 5 日
内海小学校	昭和 36 年 2 月 13 日	住吉小学校	昭和 36 年 12 月 7 日
生目小学校	昭和 41 年 2 月 7 日	大塚小学校	昭和 46 年 12 月 1 日
池内小学校	昭和 46 年 12 月 1 日	宮崎西小学校	昭和 51 年 4 月 13 日
東大宮小学校	昭和 51 年 12 月 10 日	宮崎南小学校	昭和 53 年 9 月 11 日
本郷小学校	昭和 54 年 5 月 14 日	宮崎港小学校	昭和 55 年 5 月 20 日
江南小学校	昭和 55 年 5 月 27 日	住吉南小学校	昭和 56 年 5 月 7 日
憶北小学校	昭和 60 年 5 月 1 日	小松台小学校	昭和 60 年 5 月 1 日
生目台東小学校	昭和 62 年 5 月 1 日	学園木花台小学校	平成 5 年 4 月 7 日
生目台西小学校	平成 6 年 4 月 6 日		
憶中学校	昭和 46 年 2 月 23 日	木花中学校	昭和 44 年 3 月 3 日
青島中学校	昭和 42 年 2 月 13 日	宮崎北中学校	昭和 45 年 2 月 9 日
住吉中学校	昭和 43 年 2 月 1 日	生目中学校	昭和 48 年 2 月 1 日
本郷中学校	昭和 57 年 5 月 10 日	大塚中学校	昭和 58 年 5 月 9 日
生目南中学校	昭和 62 年 5 月 1 日	生目台中学校	平成 4 年 4 月 7 日
宮崎市学校給食センター 平成 7 年 4 月 10 日			
宮崎東中学校 宮崎中学校 宮崎西中学校 大淀中学校 大宮中学校 赤江中学校 東大宮中学校 赤江東中学校			
佐土原町学校給食センター 平成 2 年 4 月 6 日			
佐土原小学校（昭和 35 年） 那珂小学校（昭和 33 年） 広瀬小学校（昭和 38 年） 広瀬北小学校（昭和 54 年） 広瀬西小学校（昭和 59 年） 佐土原中学校（平成 2 年） 広瀬中学校（平成 2 年） 久峰中学校（平成 2 年）			
田野町立学校給食センター 平成 6 年 4 月 6 日			
田野小学校（昭和 46 年） 七野小学校（昭和 46 年） 田野中学校（昭和 46 年）			
高岡町立学校給食センター 昭和 59 年 4 月 6 日			
高岡小学校（昭和 34 年） 浦之名小学校（昭和 40 年） 穆佐小学校（昭和 34 年） 高岡中学校（昭和 59 年）			
清武町立学校給食センター 平成 7 年 9 月 2 日			
清武小学校（昭和 40 年 4 月） 大久保小学校（昭和 40 年 4 月） 加納小学校（昭和 60 年 4 月） 清武中学校（昭和 40 年 4 月） 加納中学校（平成 11 年 4 月）			

